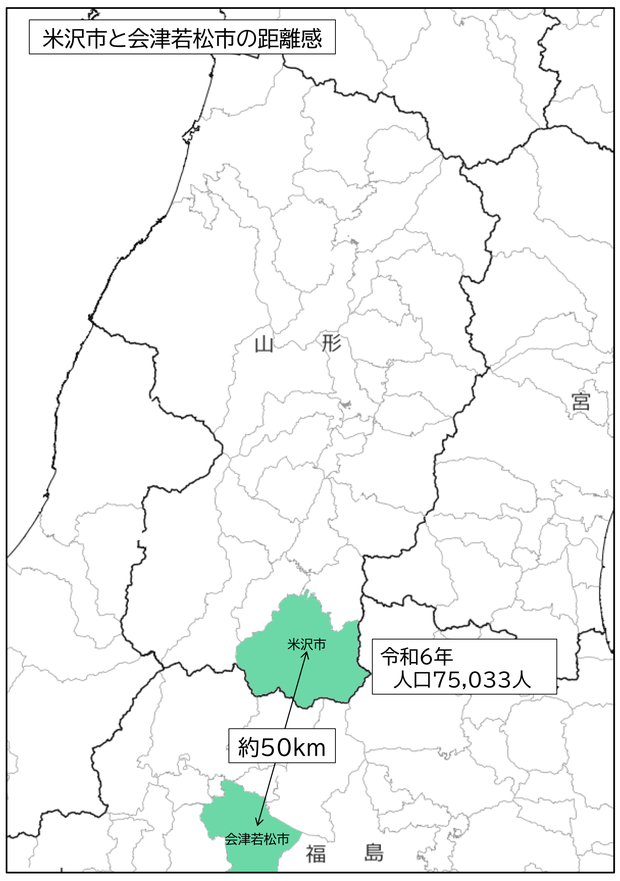
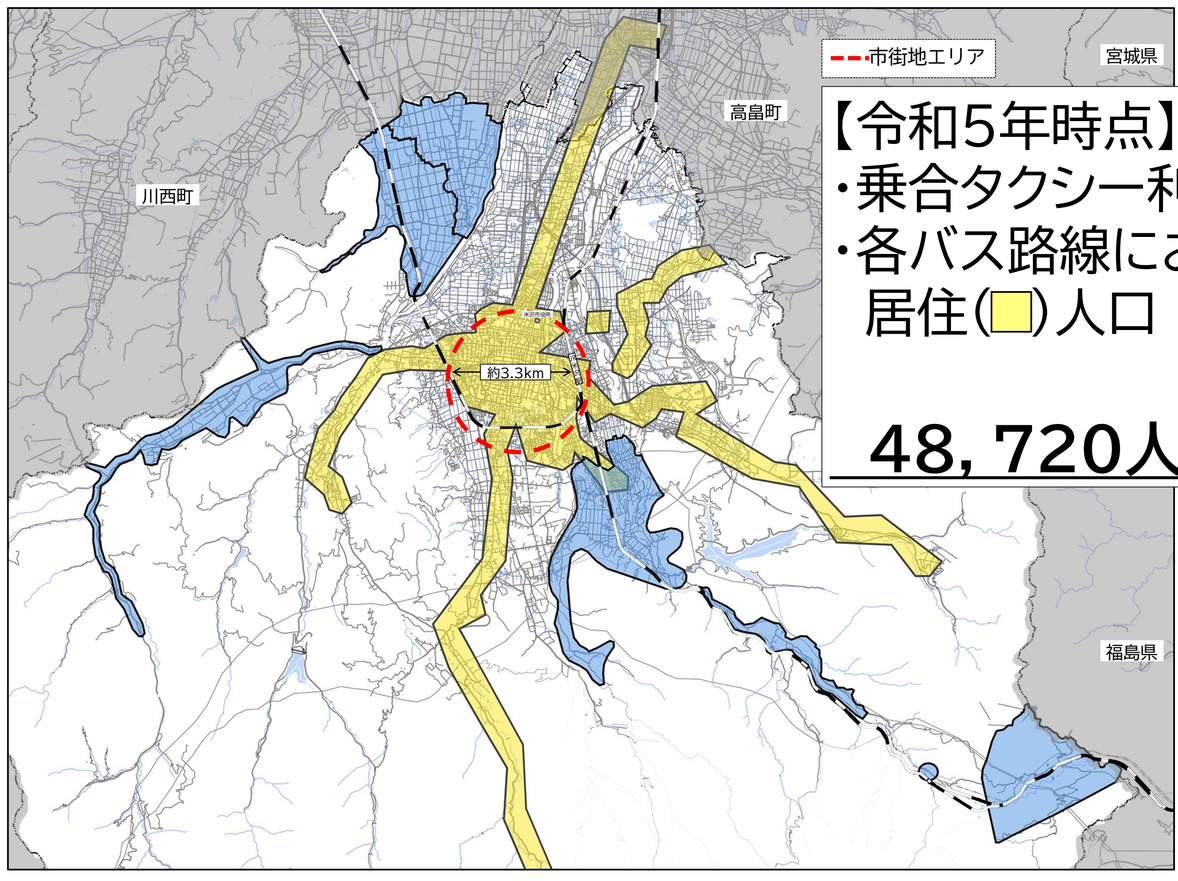
米沢市　交通事業者と連携した市内全域における交通空白地の解消



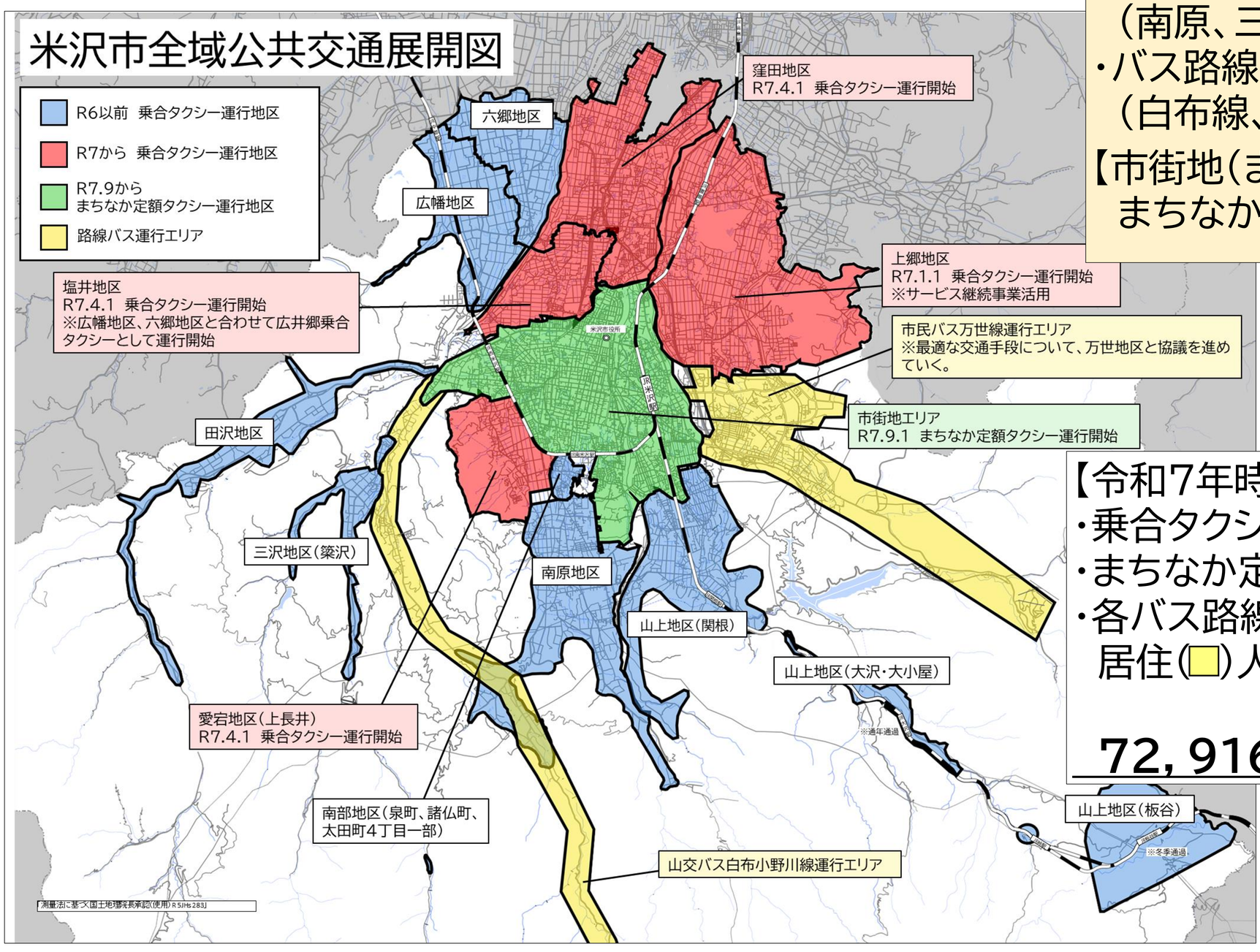


【令和5年時点】
・乗合タクシー利用可能地区(■)人口
・各バス路線における停留所から300m以内居住(■)人口

48,720人(全人口の64.9%)

【郊外部】
・乗合タクシーエリアの拡充
（南原、三沢、上郷、窪田、塩井、愛宕）
・バス路線の見直し
（白布線、小野川線の統合）

【市街地(まちなか)】
まちなか定額タクシーの運行開始



【令和7年時点】
・乗合タクシー利用可能地区(■■)人口
・まちなか定額タクシー利用可能地区(■)人口
・各バス路線における停留所から300m以内居住(■)人口

72,916人(全人口の97.2%)

■交通事業者との協力体制

米沢市地域公共交通計画(令和4年度～8年度)に基づいて、米沢市と交通事業者、関係機関等が密接に連携しながら一体的に取り組むこととしている。

（１）バス事業者（株式会社　山交バス）
運行内容：市内各路線バス及びコミュニティバス（学園都市線）
協議内容：①学園都市線（旧南回り路線）の運行開始に向けた協議
②路線バスの見直しに向けた協議（バス部会も開催）
③その他各利用実績に応じた見直しに関する協議

（２）タクシー事業者（米沢市ハイヤー協議会（市内タクシー会社４社））
運行内容：郊外部及びまちなかの乗合タクシー
協議内容：①郊外部の乗合タクシー導入にあたって地区と検討した運行案について協議
②まちなか定額タクシー運行開始に向けた協議（タクシー部会も開催）
③その他各利用実績に応じた見直しに関する協議

■今後の課題解決に向けた取組

・公共交通事業者の担い手(運転手)不足解消（1例:夜間タクシーの待機時間解消）
・効率的な運行に向けた見直し